

APIX

APIX corporation

Vol.
36

2020

December | 令和二年

大阪



AP

100 Years and Beyond

COMMUNICATION

株式会社アピックス 社外報



東京

特集

創業101年のスタートに当たり ‘100 Years and Beyond’



代表取締役社長 河村 武敏

創業101年目は、新しい中期経営計画の初年度にあたります。前3年の中期経営計画では、中期事業目標として「ドキュメントサービス領域のBPO サービス」を明確に定め、社内外へ発信し、サービスを提供してまいりました。

今回の新・中期経営計画の説明の中で、内閣府の提唱する「Society5.0」を例にあげ、社会環境の変化について、説明をしました。アピックス100年の歴史の中では、右のチャートにあてはめて考えると、大きなターニングポイントになります。

「創業101年のスタートに当たり」～ ‘100 Years and Beyond’

今年2月に創業100周年を迎え、さてこれからという時期に、思いもよらぬ「新型コロナウイルス」による世界的パンデミックが発生し、新常态（ニューノーマル）での生活スタイルに、なれない日々が続いています。神は新型コロナウイルスにより、弊社だけでなく全世界に試練を与えた結果となりました。

そのような中、去る10月24日（土）東京地区、10月31日（土）大阪地区にて、ソーシャルディスタンスを考慮し、恒例の経営方針会議を2ヶ所で開催いたしました。

アピックス100年の推移
Society 3.0 工業社会 (1920～1995)
大量生産・消費社会における、感光紙の製造から青焼・複写加工によるプロダクトアウトサービス
Society 4.0 情報社会 (1995～2019)
インターネットや携帯電話、スマートフォンなどの普及によって世界がネットワークで繋がった社会の実現による、小ロット多品種をベースにしたプロダクトアウト/BPOサービス
Society 5.0 創造社会 (2020～)
サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）、で必要とされるBPOサービス

今年是我々を取り巻くビジネス環境も大きく変化しました。緊急事態宣言下での緊急テレワーク体制の整備にはじまり、会合・会食やセミナーの中止、そしてオンライン対応などにおいて、電子化社会やDXによる新しいサービスの実現に待ったなしの状況です。

まさに、アフターコロナ時代において必要とされるBPOサービスは、その価値観も大きく変わりますが、現状のサービスの延長線上に、さらなるお客様のニーズがあるように思えます。101年目のスタートにあたり、チャレンジスピリットを忘れず、‘100Years and Beyond’（100年、そしてさらにその先へ）を統一キャッチに、新しいBPOサービスの拡充に向け、コロナ第二波・第三波に負けず、全社一丸となり邁進してまいります。

今後とも是非お声がけいただけますようよろしくお願い申し上げます。

お客様、関係各位の皆様方とともに一層健康に留意され、変わらぬご指導、ご支援を伏してお願い申し上げます。



チームVP賞 FFCoreチーム

大阪制作部 仲間 勝徳

今までやってきたやり方を変えるといった事は難しい事です。今回チーム賞をいただきました『Free Flow Core』でも最初は今までのソフトの方が良いとの印象が強く、皆さんにその効果を体感してもらって、システムとして根付くまでが大変でした。最初の頃、何もかもが手探りだった中、効果を生み出せると信じて愚直にプロジェクトを進めてもらったメンバーには感謝すると共に、今後も一緒に様々な活用が出来るよう頑張っていきたいです。

ありがとうございました。

アピックス アワード 2020 受賞者の声

毎年、経営方針会議でこの1年間に活躍したチーム・社員を表彰しています。今年の実績者をご紹介します。



個人VP賞

東京営業部 今田 信作

この度は、個人VP賞を頂きましてありがとうございました。何年も前からペーパーレス化が叫ばれていましたが、業界の特性などでお客様の取り組みにはバラツキがありました。

しかし、コロナ禍の中で10年かかる改革をこの数ヶ月で推し進めたとされるように、多くのお客様が緊急的な措置に始まり、今は業務プロセスのデジタル化、ペーパーレス化、セキュリティの強化など、恒久的な仕組み作りに取り組まれています。これらの変革が目的とする業務の効率化には、文書情報のあり方、管理をどのように対応させていくかの視点が欠かせません。文書情報マネジメントの重要性が増していく中でアピックスが貢献できるよう、これからも取り組んでまいります。



個人VP賞

大阪制作部 仲間 勝徳

今回、個人VP賞を頂きましたが、私個人の想いとしては【個人VP賞】ではなく、【チームVP賞】のような気持ちで受け取らせていただきました。

受賞理由が各プロジェクト活動への貢献であったかと思いますが、実際に動いてくれているメンバーの皆様が、私がプロジェクト活動ができるように不在時の業務をサポートしてくださった皆様がいて、初めて受賞できた賞だと思っています。

関わってくださった皆様への感謝の気持ちと共に、今後も日々精進していきたいと思っています。ありがとうございました。



個人VP賞

大阪営業部 船津 寛子

この度は貴重な賞をいただき、ありがとうございます。

アピックスには社員、お客様ともに尊敬できる方が多く、日々抱えている小さな憧れの積み重ねが今回の賞につながったのだと思います。志プロジェクト（別途記事を掲載しております、ぜひご覧ください）では、コロナ禍でもパワフルな参加企業の皆様や、努力を楽しむ学生さんたちの姿勢、そしていつも全面的に協力してくださるアピックス社員の皆様の姿に、多くのことを学びました。これからも精進してまいりますので、今度ともよろしくお願いいたします。



新人賞

東京制作部 吉田 香織

この度は、今回より新しくアワードとして加わった新人賞を頂きましたこと、とてもうれしく思っております。早いもので、入社して3年になりました。入社当初は、ご心配やご迷惑をおかけすることもありました。今回、受賞できましたのは、私個人の力だけでなく、自分を支えてくださった職場の皆様の協力があったの事だと実感しております。今後も、周囲の方々を支えを忘れずに、より一層精進してまいりたいと思います。この度は本当にありがとうございました。



新人賞

リソースマネジメント部 北川 侑佳

この度は、このような素晴らしい賞に選ばれた事、とても嬉しく思っております。

今回新人賞を受賞できたのは、入社以来、より良い成果が生まれるように導いてくださった先輩方や同僚のお陰であると、身に染みて感じております。

この賞は、私にとって身に余る栄誉であるだけでなく、この70期を振り返る良い機会となりました。

今後も期待に応えられるように、初心と努力を忘れず、来年も結果を残せるように仕事に励んでまいります。



新人賞

東京営業部 李 菁菁

この度は、一度しか受賞する機会のない「新人賞」を頂き、大変嬉しく光栄に思っています。

入社以来、より良い成果が生まれるように導いてくださった多くの先輩方や同僚のお陰であると、身に染みて感じております。新人賞は皆様のご協力の上での成果です。

また、いつも大変お世話になりましたお客様にも、心より感謝しております。この賞に恥じぬよう、頂いた表彰を励みとし、初心と努力を忘れず、皆さんから頂戴した温かいお言葉を胸に頑張り、会社に貢献できるよう精進して参ります。

「志プロジェクト」では、全国各地域の大学生が地元企業の経営者へインタビューを行い、学生目線での会社案内を作成します。その過程を通じて大学と地元企業との相互理解を深め、地域人材の育成を目指すことが本プロジェクトの目的です。富士ゼロックス株式会社様、大阪経済大学様、そしてアピックスによる大阪地域での活動は今年で3年目。コロナ禍の影響により約半年間の活動延期を余儀なくされておりましたが、参加企業様のご支援もあり、完全オンラインでのプロジェクト再開に至っただけでなく、コロナ禍において社会や企業のあり方にどのような変化があったのかを参加企業様へ追加取材し、より充実した内容に上げることができました。コロナ禍で、もたただでは起きない地元企業の底力を知る、素晴らしい機会となりました。



10 年勤続表彰

■ リソースマネジメント部の平泉芳知と申します。入社10年を迎えるにあたり振り返ってみると、製薬会社やPR会社などへほぼ2年ごとの異動があり、様々な環境の中で業務に従事しておりました。現在は大学の印刷室での業務となりますが、新型コロナウイルスの影響によるオンライン授業への移行など、業務対応もそれに伴って変化しました。そのように環境や状況も多様な中で、常にお客様のご要望に応じられるよう、これからも日々精進してまいります。

リソースマネジメント部 平泉 芳知

■ この度、勤続10年を迎える事になりました大阪制作部の住田でございます。

2020年は弊社100周年という節目と同時にこのような栄誉ある賞を頂戴できました事は、ひとえにお客様の日々のご愛顧の賜物と深く御礼申し上げます。

光陰矢の如しとは申しますが、初心を忘れず、これからも1日1日を大切に、更なるサービス向上、品質向上に誠心誠意努めて参る所存でございますので、今度ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪制作部 住田 直紀

■ この度、勤続年数10年の表彰を受けました事、非常に嬉しく思います。

心からお礼申し上げます。いつの間にか10年経ったと、表彰されて改めて実感しました。まだ10年という月日ですが、入社して色々な経験をさせて頂きました。お客様、会社の皆様には助けて頂いた事ばかりを思い出します。周りに恵まれての、この10年だったと思います。この感激を思い出し、さらに会社の発展の為に懸命の努力をしたいと思います。

リソースマネジメント部 濱辺 秀男

株式会社 アピックス

本 社 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2
TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296

東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル3F E-mail info@apix.co.jp
TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296 URL http://www.apix.co.jp